

「もったいないない」食品救う

賞味期限内なのに、メーカーや小売店の都合で廃棄される「もったいない食品」を有効利用する

「フードバンク」が中国地方で初めて、広島市内に設立された。中心メンバーの栄養士や食品メーカーの社長たちは、四月中にも安佐北区内に活動拠点を置き、集めた食品を福祉施設に無償で配る活動を始める。

二月下旬に設立された特定非営利活動法人（NPO法人）「あいあいねつと」（原田佳子代表、安佐

賞味期限内 店の都合で廃棄

北区）が運営する。収集が不足した製品を提供す

や保存、配布のための経費は企業と会員からの募

員が持ち帰るほかは廃棄するしかなかった。社会

金でまかなう。

収集するのは、安全性

貢献に加え、廃棄量や廃棄コストも削減できる」

や品質とは関係ない理由

で処分された食品が対

と利点を挙げる。食品の

象。輸送段階や店頭で外

箱が破損したり、製造過

で精神障害者を支援する

程で規格外になったりし

た品物で、生活弱者の支

援団体が、福祉施設に無償

提供する計画である。

フードバンクは米国発

祥の市民運動。東京と大

阪では約五年前からNP

O法人が大手スーパーな

どと提携し、米、レトル

ト食品、缶詰の保存食を

は、袋詰めの際に内容量

は、袋詰めの際に内容量

ト食品、缶詰の保存食を

は、袋詰めの際に内容量

は、袋詰めの際に内容量

ト食品、缶詰の保存食を

は、袋詰めの際に内容量

は、袋詰めの際に内容量

ト食品、缶詰の保存食を

は、袋詰めの際に内容量

は、袋詰めの際に内容量

ト食品、缶詰の保存食を

は、袋詰めの際に内容量

は、袋詰めの際に内容量

ト食品、缶詰の保存食を

は、袋詰めの際に内容量

は、袋詰めの際に内容量

ト食品、缶詰の保存食を

は、袋詰めの際に内容量

は、袋詰めの際に内容量

へ配布無償収集のNPOの広島

主体に収集。路上生活者の支援団体や児童養護施設に配っている。

あいあいねつとは今後、広島市内を中心に食品を提供する企業やスーパーを募るほか、他のフードバンクとも連携する。食育活動で試食会、親子向け料理教室も開く。

管理栄養士でもある原田代表は「食の安全が注目されているが、大量の食品を捨てている現状は知られていない」と訴えている。☎082(819)1217。(西村文)